

## 食育について

児童が望ましい食習慣を形成できるように、食育全体計画に基づいて取り組んでいます。

～食育パワーアップ作戦～ 学級担任と栄養教諭が食育授業を行っています。

### ○2年生「すききらいなく食べよう」

食べ物にはそれぞれ大切なはたらきがあり、バランスよく食べることの大切さを学びます。



### ○4年生「作ってくださる方に感謝して食べよう」

そば農家の方の苦労や喜び、給食がどのように作られているかなどを知り、おうちや学校で感謝を表す方法を考えます。

### ○6年生「朝ごはんをしっかり食べるための方法について考えよう」

朝ごはんは、成長期の子どもたちにとって、大変重要な食事です。朝ごはんの重要性について振り返り、しっかり食べるために、生活習慣の見直しなど、自分でできることを考えます。



### ～食育タイムの一斉学習～

給食だよりの裏面に印刷している「食育タイム」を、朝の活動の時間に動画で一斉学習しています。1月は、食文化について「徳島県の郷土料理について知ろう」というテーマで実施しました。

19日は食育の日です。



1月の食育タイム動画

## 給食について

### ～給食委員会の活動～

給食委員会の児童は、毎日、安全に給食が実施できるように、大活躍しています。

○準備 安全に運ぶことができるように、優しく声をかけて手渡しています。

○食事中 給食について興味が高まるように、校内放送をしています。

○後片付け 学級ごとの食べ残しを確認して、学期末に表彰しています。

食器などの受け取りやゴミの分別を行っています。

牛乳パックをコンパクトにまとめるモデルを作成し、学級に回覧しました。



牛乳パックの戻し方

### ～環境面～

食文化は、子どもたちに伝えていきたい大切な宝物です。

給食室には、季節や行事ごとに、子どもたちの成長や節目をお祝いした、心が豊かになる掲示物があります。給食室長の手作りです。



### お知らせ

学級担任、養護教諭、栄養教諭が連携した個別相談を実施しています。子どもたちの食生活等に関してお困りのことがございましたら、お声がけください。





## 特別支援教育について



『特別支援教育』では、学習や生活で難しさを感じている児童に対して、専門家のアドバイスを受けながらその子の特徴に合った支援をすることで、より楽しく学習を行ったり生活を送ったりできるようになることを目指しています。千松小学校では、困り感を抱えているなど、気になるお子さんについて次のような支援を行っています。

	支援の方法
通常の学級	(1) 学級内で配慮をしながらの支援 学習内容の理解や作業に時間がかかる児童については、学級内で児童に配慮した授業を行い、分かりやすい授業を目指します。どの子にも「分かる」「できる」授業を目指し、T・T指導も行っています。
	(2) 通級指導教室（わかば教室） 通常の学級での指導に加え、週数回、児童の困り感に応じたトレーニング（自立活動）を行います。トレーニングをすることで、学級での授業や学校生活全体での困り感を少なくすることを目指します。
特別支援学級	(3) 特別支援学級（ひまわり学級） 個々の児童に応じたカリキュラムを組んで指導します。また、実態に応じて通常の学級（交流学級）でも学習を行います。学校生活や社会生活のために必要な知識や技能を身に付けるカリキュラムもあります。

特別支援教育に関する御質問、お子さまのことで気になることがありましたら、お気軽に担任もしくは特別支援教育コーディネーターに御相談ください。

※特別支援教育コーディネーターは、困り感を抱えている児童について保護者や担任から相談を受け、児童の実態を把握したり、情報を収集したりして担任や関係機関と連携し児童の支援を考えていきます。

## タブレット端末は「魔法のお道具箱」

徳島市では今年度1月より、新しい一人一台端末としてiPadを導入いたしました。これまでのタブレット端末と同様に、子どもたちが自分の考えをまとめたり、友達と意見を共有したりするための「魔法のお道具箱」として活用を進めてまいります。授業では、写真や動画を撮って記録したり、図形を動かしながら考えたりと、ICTならではの学びが広がっています。発表が苦手だった子どもが、画面を通して自信を持って意見を伝えたり、友達の良い考えを即座に取り入れたり、教室に新しい活気が生まれています。

また、インターネットの世界には危険も潜んでおり、学校では、「情報モラル教育」にも取り組んでいます。例えば、相手に面と向かわないで行う、文字だけのやり取りは誤解を招きやすいことを学んだり、ネットの情報がすべて正しいとは限らないため、情報を取捨選択することの大切さを考えたりしています。子ども達のタブレット端末の中にも、情報モラル教材「Netモラル」というアプリが入っています。中にはデジタル機器との付き合い方を発達段階に応じた内容で説明してくれています。授業で活用していき、これからの情報化社会をたくましく生きていく力を付けていきたいと思えます。また、ご家庭でも情報との付き合い方についてお子様とお話しいただけると幸いです。



※このイラストは Gemini を活用して作成しました。